

令和5年度 狭山市立入間野中学校経営全体計画

0 はじめに

国→教育基本法 第1条—人格の完成、(教育の目的) 第2条—教育の目標
教育振興基本計画「すべての子どもに、自立して社会で生きていく基礎を育てる」(目指すべき教育の姿)
県→生きる力と絆を育む埼玉教育プラン(第三期 令和5年度は最終年)
市→「夢をかなえ 人をつくる 狭山の教育」 *危機管理に強い学校づくり
『生きる力を備え 未来へはばたく “さやまっ子”の育成』

1 学校観

学校とは、集団の中で子どもの生き抜く力を育み、夢を実現し得る力を身につけるため、計画的、組織的に教育活動をすすめるところである。

2 中学校とは

- (1) 知識と技能と体力を育むところ
- (2) さまざまな感動や葛藤を経験しながら心を育てるところ
- (3) 将来を見据えながら義務教育後の進路について学び、考え、選択するところ
- (4) 我慢をおぼえるところ(大人の対応を教える)

3 入間野中の強み

- (1) 継承していくもの→生徒の高い可能性、生徒や教職員の信頼関係、自主性、表現力
- (2) 発展させたいこと→生徒の感性・品性・知性、自己解決能力、考える機会、清掃
地域の一員としての自覚

4 校訓

高く(知) 明るく(徳) たくましく(体)

5 学校教育目標

「志高く、心豊かに、自らを鍛える生徒」

6 学校教育目標が目指す具体的な生徒像

(1) 志高く

- ① 今の自分、将来の自分の在り方、生き方を考えられる—自己有用感、自己肯定感を高める
- ② 授業や他人の考えをよく聴き、自分の考えをはっきり言える—「聴く力」「発信力」
- ③ 物事を広く深く見ることができる—寛容さ、探求心

(2) 心豊かに

- ① 相手の目を見て、聞いたり話したりする *一方的に話さない
- ② 「はい」「すみません」「おかげさま」「私がつまず」「ありがとう」をはっきりと言える
- ③ 自他の尊厳を認め、命を大切にすること(いじめ、暴力をゆるさない、謙虚な心と態度)

(3) 自らを鍛える(挑戦する)

- ① 毎日の「あたりまえ」をあたりまえにこなす—身なり、時間、清掃
- ② 50分間の学習に集中して取り組む—意欲、我慢
- ③ 自分で決めたことを粘り強く最後まで全うする—達成感、成就感

7 目指す生徒像 「知性を高め、気づく感性を備え、気遣いのできる生徒」

—場を読む力、柔軟性、行動力—

8 経営方針 「生徒の知性、感性、品性を磨く学校づくり」

- (1) 生徒一人一人の強みを引き出し伸ばします。
- (2) 大きな夢と誇りを育み、持続可能な社会の未来を拓く教育を推進します。
- (3) 謙虚な心と自他の命を大切にする教育を推進します。
- (4) 生徒、教職員、保護者、地域が愛し、誇りに思う学校を創ります。

<具体的指針>

- ① 本校の強みを継承しながらも、リスクを恐れず子どものために新たな教育活動を創造する
- ② 信頼と協働のもと、組織的に課題に臨み、全教職員で一人ひとりを教育する体制を確立する
- ③ 子どもの心を揺さぶる教育環境（人、もの、仕掛け）づくりをすすめる
- ④ 小中一貫教育を踏まえ、保護者、地域の教育力の活用を推進する

9 特色ある教育活動

- ICT を積極的に活用した授業づくり
- SDG s の視点を導入した教育課程
- 積極的な生徒会活動（いじめゼロ宣言、ヘルスタイム、さまざまなキャンペーン活動）
- 教育相談の充実（チャンス相談、二者面談）
- 生徒の主体的な学校行事（体育祭、音楽祭、旅行的行事）
- 無言清掃
- 時代の要請に応じた学校生活様式

10 指導の重点、努力目標

本年度特に力を入れたい点

学習—「文脈を読みとる力、文脈から考え、判断・表現する力の向上」

生活—「身近な事に目を向け、他人に惑わされず、自分の決断に自信をもつ行動」

(1) 確かな学力につながる学習活動の充実と基礎的・基本的事項の徹底

- ◎ 1 単位時間内で学習内容を理解し定着できる授業、わかることに自信のつく授業
- ◎ 「理解して深める」授業の創造(展開の工夫)、まとめの工夫
- ◎ 基礎・基本の定着のこまめな見届けをする

<p>策 学力向上のための実践、指導法・教材の共有化（教材リソース） ICT（タブレットPC）の積極活用、<u>オンライン授業の研究と推進</u> 教科内での授業研究(参観)、教科内の共通した学習活動 小単元テスト等の積極実施、長期休業中の補習講座 パワーナップ</p>

◎家庭学習の習慣化(自学、自習できる力の定着に向けて)

- 毎日 30 分以上は、自宅で机に向かい学習することを継続させる。

<p>策 15 分程度の宿題の提示、定期テスト前の学習計画の作成と指導 長期休業中のしおりの作成、<u>タブレット端末を活用した課題提示</u></p>
--

(2) 豊かな心の醸成

- ◎感動、葛藤のある教育活動の創造—体験的学習の推進
- ◎自他の尊厳を認め、謙虚な心と命を大切にする教育の推進
- ◎自助、共助、公助の心と態度を育む教育の実践

策 全校、学年一斉道徳授業の実施、道徳の指導法、資料の共有化
学校ファームでの体験充実、体験学習の工夫、生徒会による
いじめゼロの取組、防災に関する一斉の授業、「いのちの授業」

(3) 基礎体力の向上と心身の健康の増進

- ◎体育の授業の充実
- ◎目的意識を持った部活動の充実—顧問が必ず部活動に出る
- ◎食育の推進、防衛体力の増進

策 基礎体力トレーニングの導入、大会前の激励会の企画、養護教諭等
との協同授業、授業、保健室だよりによる病気、けが・感染症予防策の学習
部活動の日の設定

(4) ESD (持続可能な開発のための教育)

- ◎SDGs との関連を意識した教材研究と授業改善

策 各教科の学習内容からの洗い出し、SDGs をテーマにした研修
総合的な学習の時間での取組の研究 (学年ごとに具体的なテーマを設定)

(5) 積極的な生徒指導の推進(生徒指導環境の整備)

- ◎規律ある態度の育成

○心を落ち着けて行動する、黙働の推進と徹底

策 無言清掃の徹底 集会会場への黙働入退場(担任の立ち位置)
廊下の徒歩移動の徹底

○時間を守る - 学校生活で時間を守る→

- ①朝読書の開始 ②授業の始終業
- ③清掃の始まり ④下校

策 教職員の3分前行動の実践(朝の職集の効率化、連続授業時の移動
の工夫)、生徒会の啓発運動、専門委員会の呼びかけ、繰り返しの指導

○身だしなみ、言語環境を整える

策 教員による登下校指導(定期テスト時)、毎朝の担任による指導、
朝会時の指導、専門委員会による服装点検の実施、校長面接
職員室来室時の指導の徹底、TPO を踏まえた言葉遣い(対生徒、対同僚)

- ◎無言清掃にしっかり取り組み、他人が嫌がる仕事に喜んで取り組む態度を養う

策 清掃強化週間、トイレ掃除の講習会(便器を磨ける生徒)

- ◎いじめ防止、不登校防止対策の推進

策 いじめ調査の定期実施、いじめゼロキャンペーンの実施(生徒会)
いじめ防止個票の作成と活用(教育相談部)、相談室との連携、
SC の積極活用、教育相談部会でのケース会議、「I's」を使った研修

(6) 社会総がかり(保護者、地域)の共育の実践

◎家庭との連携の推進

策 保護者会や三者面談を活用した信頼関係の構築、緊急時の親身で熱意のある面談と指導、迅速な対応、学校公開での教育活動の理解醸成
あいさつ運動の定例化、学校だより・HPによる情報発信、保護者参加授業

◎地域の教育力の積極的な活用

策 学校運営協議会制度の活性化、学校応援団の活動機会の増設、学習支援ボランティアの増員、外部指導者による講演会
学校だより・HPによる情報発信、

◎学校(生徒、先生)が地域に出向く活動の工夫

策 生徒会主催の奉仕活動(アダプトプログラム、地域清掃活動、福祉活動、
学校だよりによる地域の行事の紹介

10 令和4年度保護者アンケート結果(一部抜粋)

A そう思う B どちらかといえばそう思う C どちらかといえばそう思わない D そう思わない

質問事項	*単位は%	A	B	C	D	無答
《授業》 大切なことをわかりやすく教える授業が行われていますか。		26(-7)	68	6	0	0
《人間関係づくり》 学校行事、学年・学級活動などを通して生徒の良い人間関係づくりが行われていますか。		43(+1)	53	4	0	0
《基本的な生活習慣》 礼儀、清掃活動、時間を守るなどの基本的な生活習慣が育てられていますか。		41(-5)	51	4	0	0
《開かれた学校づくり》 本校は、保護者として足を運びたいですか。		34(-4)	58	7	1	0
《学校保健安全》 教育活動の中で、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が十分に行われていますか。		36(-7)	55	9	1	5
《満足度》 本校の教育活動には満足していますか。		38(-5)	58	7	1	0